



【伴走型小規模事業者推進事業】

呉広域商工会 経営支援事例のご紹介



事業承継

事業承継を契機とした新規事業への進出

製造業

(有)安浦プレス 清水さま

安浦地区

● 相談内容 ●

同社は昭和45年に父親である先代社長が、(株)日本製鋼所を定年退職後に創業した会社です。創業以来、自動車部品のプレス加工を高品質かつ低価格で安定的に提供してきましたが、平成20年のリーマンショックによる売上減少、平成26年、平成30年の豪雨災害、令和2年からの新型コロナの影響により、売上減少が続いていました。自動車業界は、EVシフトにより先行き不透明であり、このまま事業を縮小、廃業することも検討していました。

しかし、現社長の娘婿が、マシニング加工を行う会社に勤めており、今後自身でマシニング加工事業を運営していきたいという意向があった為、当社へ入社してもらい、新たにマシニング加工部門を立ち上げ、業績回復を図りつつ、将来的には事業自体を現社長から事業承継するスキームで話を進めてきました。

商工会への加入は、地元信用金庫の担当者より、「これから設備投資を行っていくにあたり様々な補助金の活用していく上で、補助金申請書類作成は商工会からの支援を受けた方がいい」というアドバイスがきっかけで、令和4年3月に商工会への加入申込をいただきました。

*マシニング加工…高速で回転するドリル等を押し付け、不要な部品を除去する加工で、職人の技術やノウハウが活きる。



本社工場外観



ものづくり補助金で導入のマシニングセンタ



マシニング加工した部品

● サポート内容 ●

令和4年	3月～6月	小規模事業者持続化補助金申請支援	令和5年	3月～4月	経営力向上計画および先端設備等導入計画申請支援
	9月～12月	ものづくり補助金申請支援		3月～4月	経営革新計画申請支援
	11月～12月	事業継続力強化計画申請支援		7月～8月	事業承継補助金申請支援

● 成果内容 ● (担当指導員の声)

各種補助金申請時に事業計画書を作成していくことで、今までやってきたことを振り返りながら、現状を把握し(自社の強み・弱み・機会・脅威について分析すること)その中で、自社にとってこれから何をしていく必要があるのかを具現化させて、それを実行していくことで、経営の立て直しができるのではないかと思います。これからも、伴走支援を継続しながら、事業者の更なる発展に寄与していきます。



プレス加工した部品(自動車のマフラーカバー)

販路拡大 販促支援

補助金を活用した販路開拓支援

農業・加工品製造販売 森岡屋 飛弾さま

豊地区

● 相談内容 ●

飛弾総子様は呉市豊町で柑橘農園を営む傍ら、地域の女性の皆さんと「柑橘生活研究会」を結成し、地域で採れた柑橘を活かした特産品の開発、ならびに製造販売に取り組んでいます。

開発商品数も増えてきたことから、販促用のリーフレット作成と新たにECサイトでの販売に取り組み、販路拡大を図りたいと商工会に相談に來られました。

● サポート内容 ●

飛弾様にとってSNSやECサイトの利用は初めての取り組みであったため、商工会の専門家派遣制度を活用し、Web-SNS活用アドバイザーを招聘し、ECサイトのイメージの構築とSNSとの連携方法について支援を行いました。

併せて小規模事業者持続化補助金の活用を提案し、事業計画書の作成から実績報告書の作成まで、事業全般にわたり支援し、リーフレットとECサイトの制作に繋がりました。

ECサイトは一般の方々には認知されるまでに地道な努力と工夫が必要なため、現在においても、専門家派遣による認知度向上に向けたフォローを継続的に行っています。

● 成果内容 ● (事業者様からの声)

小規模事業者持続化補助金を活用することで、費用負担を抑えつつ、望んだリーフレットを作ることができました。また、リーフレットやECサイト制作を契機としたお客様からの問合せ件数も増えましたが、驚いたのは産直品を探している大手企業からの問い合わせがあり、今回の取り組みの可能性を感じました。私はIT関連については不得手なので、今後も商工会さんの支援を上手に活用し、ECサイト等を通じて、豊町の柑橘を全国に広められるように頑張ります。



代表 飛弾 総子様



看板商品の檸檬れもん



Instagram

ECサイト



● 相談内容 ●

同社は50年程前に現代表者の祖父が牡蠣養殖業者として創業、平成4年に法人成りし、現在は5年前に事業承継した3代目が社長となり事業を運営しています。

殻付き牡蠣の需要がこのところ増加している中で、中川義治社長から以下の相談がありました。

- ①現在の出荷量では、売り切れが発生し利益を逸失している。
- ②利益率向上のために、殻付き牡蠣の生産性アップを図りたい。

● サポート内容 ●

現在は殻付き牡蠣の付着物を除去する作業を手作業で行っており、ハンディタイプの機械を導入することで大幅な時間短縮が図られ、生産性向上が期待できることから、その購入資金の一部に小規模事業者持続化補助金の利用を提案、期限内の提出に向けて申請書作成等のサポートを行いました。

今後は自社で販促用チラシの作成を行う予定であり、競合他社と差別化

ができ、訴求効果のあるチラシ作成のため、専門家派遣等による販促支援についても行う予定です。また、その後の計画進捗についても支援を行い、事業者と共に目標達成の為の様々な支援を行っていく予定です。

● 成果内容 ● (担当指導員の声)

事業計画の作成を支援することで、代表者にとっても自社分析を行うきっかけとなり、自社商品と他社商品との差別化やPRの重要性について再認識することができたのではないかと感じています。また事業計画作成の必要性や計画作成時における数字の根拠についても、重要性を認識していただけたのではないかと思います。



8月31日より開始 業務改善助成金の制度が拡充されます！

対象事業場拡大、助成率区分見直し、賃金の引き上げ後の申請が可能に

※申請期限：2024年1月31日
(事業完了期限：2024年2月28日)

業務改善助成金とは

業務改善助成金は、事業場内で最も低い賃金(事業場内最低賃金)を引き上げ、設備投資等を行った中小企業・小規模事業者等に、その費用の一部を助成する制度です。



拡充のポイント

①対象事業場の拡大

対象事業場：
事業場内最低賃金と
地域別最低賃金の差額が
50円以内の事業場

例：地域別最低賃金が920円の
地域において

事業場内最低賃金が
955円(差額35円)の
工場

拡充後
対象に!

差額が50円以内に拡大されたので、助成金が受け取れるようになりました

②賃金引き上げ後の申請

事業場規模50人未満のみ
2023年4月1日から12月31日
までに賃金の引き上げを実施して
いれば、賃金引き上げ計画の提出
は不要となりました

以下の書類の提出は必要です

- ・賃金引き上げ結果
- ・事業実施計画(設備投資等の計画)

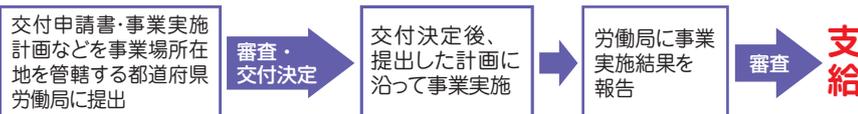


③助成率区分の見直し

事業場内最低賃金額	助成率
900円未満	9/10
900円以上 950円未満	4/5 (9/10)
950円以上	3/4 (4/5)

※()内は生産性要件を満たした事業場の場合

助成金支給までの流れ (助成上限額600万円)



ご不明な点は、下記の業務改善助成金コールセンターまでお問い合わせください。
電話番号：0120-366-440 (受付時間 平日8:30~17:15)



観光地ひろしま
DX推進事業補助金

デジタル技術の活用やDXに向けた基盤設備に取り組む観光関連事業者の方を対象にDXツールの導入に係る経費の一部を補助します。

補助上限額・補助率

上限300万円(補助率4/5)

申請受付期間

令和5年9月1日~12月28日
(補助対象期間:補助金交付決定日~令和6年1月31日)

※予算の上限に達した場合、申請受付を終了します。

補助対象者

- 県内の観光施設等(※)を運営する
- 法人
- 個人事業者
- 事業共同体
- 観光協会
- DMO
- 経済団体

補助対象経費

- 機器購入費
- 機器リース料
- サービス利用料
- 初期設定費用



※観光施設等…観光施設、体験施設、宿泊施設、土産物店、飲食店、交通機関

補助金交付の流れ



※交付決定以降に事業着手(契約・発注)してください。

お問い合わせ

DX推進サービス機器コールセンター

＜導入検討に関すること＞
TEL:050-3659-6376

観光地ひろしまDX推進事業補助金事務所

＜申請書類提出に関すること＞
TEL:082-542-2732 メール:kankou-hiroshimadx@bsec.jp
受付時間:9:30~12:00,13:00~17:00(月~金曜日)
※土日祝日、年末年始(12/29~1/3)除く

